

令和3年10月7日



新宿区立津久戸小学校 地域協働学校

運営協議会だより 第4号

代表 林天延 校長 牧田 健一

第5回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 日時 令和3年10月4日(月) 15時30分～16時30分
- 場所 津久戸小学校 会議室
- 司会 運営委員会代表 林天延

1. 校長挨拶

2年に1回、第三者評価委員として大学の先生方にご意見をうかがう機会があり本日はその委員の方々にも出席いただいています。2学期当初は午前授業でスタートしました。9月にはパラリンピックの観戦があり児童の多くから「行ってよかった」という声がありました。臨場感あふれるなか、滅多にない体験ができたと考えています。残念なのは5・6年生の移動教室が中止になってしまったことです。10月9日には保護者参観ありで運動会を予定しています。11月にはかぐら連が地域行事に出るとうかがっています。本校の児童にも阿波踊りが踊れるようにしたいのでその機会を探りたいです。

児童と保護者に協力いただいた学校評価の前期の結果は概ね良い結果が出ています。10月の運動会と学校公開で、保護者の方に学校での児童の様子を見てもらいたいと思います。

学力調査の結果は今年も都平均を上回っていますが、逆に体力調査の結果は課題もありました。コオディネーショントレーニングを活用して改善を図れば考えています。

2. 意見交換

○教育委員会より

校長先生より体力に関する話題提供がありましたが、新宿区は都会のせいか体力面の数値が低い状況であります。2学期に入り怪我が増えているということです。

○PTA連合のスポーツ大会もコロナの影響で施設の使用がなかなかできず、練習も不十分なこと等もあり中止となっています。

○父親と学校の接点をどのように作れるかを話し合っていました。PTAでもイベントが開催できないなか、地域協働運営協議会として何かできることを考えるのも難しいかもしれません。今後も継続して考えていきたい。

○6年生は去年も宿泊行事が行えなかったのが代替とまではいなくても何か行事をしてあげられないか。ただし、学校施設開放もまだ十分ではないので、しばらくは様子見せざるをえない。

○第三者評価委員より

- ・緊急事態宣言は解除になりましたが児童のストレスがなくなった訳ではありません。津久戸小の児童には当事者意識を持てるようにしてほしいです。はっきりと目に見える形で人の役に立つことはなかなか難しいが、間接的にでも人の役に立っていることを児童が実感できるような機会をもてるとよい。
- ・本日授業参観をして、運動会前で児童のエネルギーを感じました。アンケート調査の本校6年生の結果を見ると、いじめはいけないこと、人の役に立ちたいことに関する回答の割合が非常に高い。イベントを実施する際には、大人たちがやるよりも児童が自分たちで取り組み多くの人から「ありがとう」と言ってもらえるようなイベントにしていくと児童が他人に貢献できていると実感できるのではないか。

出席者 13名

地域協働学校運営協議会はすべて公開です。どなたでも傍聴や見学をすることができます。事前の申し込みが必要です。